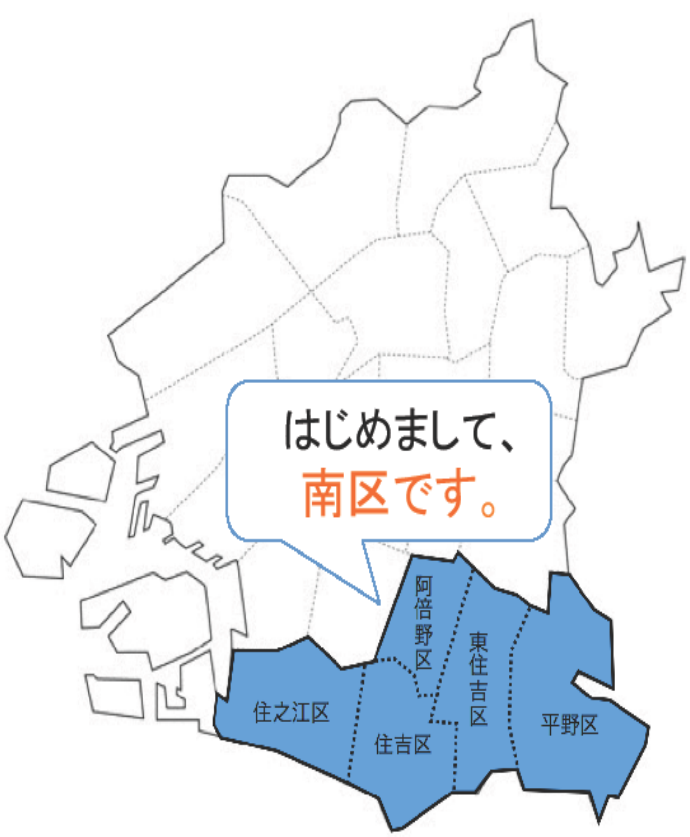


南特別区マニフェスト

OneOsaka!

大阪維新の会

南特別区政策委員会

目次

１、住民の皆様へ

２、「南区」の概要
　①概況
　②役所・庁舎の位置
　③社会的資源
　④生活指標

３、将来を見据えた南区の抱える課題
　①少子化の進行
　②人口減少・超高齢社会の到来
　③地域の特色を活かしたまちづくり・都市魅力
　④国際感覚を次世代へ修得させる質の高い教育
　⑤南区をつなぐ東西交通網の整備
　⑥大規模災害への危機管理体制

次世代へつむぐ　伝統と先進が織りなす街へ

４、南特別区の財政

５、中長期目標
　①全国トップレベルの子育て・教育環境の実現
　②ノーマライゼーション社会の実現
　③地域ごとに特色あるまちづくりの実現
　④安全・安心で緑あふれる街の実現

６、各エリアの課題・目標
　阿倍野エリアの課題・目標
　東住吉エリアの課題・目標
　平野エリアの課題・目標
　住吉エリアの課題・目標
　住之江エリアの課題・目標

1、住民の皆様へ

特別区が実現すれば、南区の区長を選挙で選べるようになります。特別区の区長は予算編成権、人事権、条例提案権という強力な権限を持ち、選挙で掲げたマニフェストの実現に全力を尽くすようになります。

これまでの政令市としての大阪市では約267万人の人口に対して、１人のリーダーしかおらず、基礎自治体として、目を行き届かせる事は非常に難しい体制でした。特別区を設置し、約70万人に１人のリーダーという体制を作ることにより、これまでより一層目の行き届いた住民の声を活かした区政が実現できるようになります。

住民が力を合わせれば統治機構を変えられる。役所の形を変えられる。政治を動かせる。大阪都構想は、真の民主主義実現への挑戦です。大阪の未来の形は議会や役所だけで決めるのではなく、住民投票という究極の民主主義のプロセスで決めるべき重要な問題なのです。大阪都構想の主役は大阪に住む一人一人の住民です。

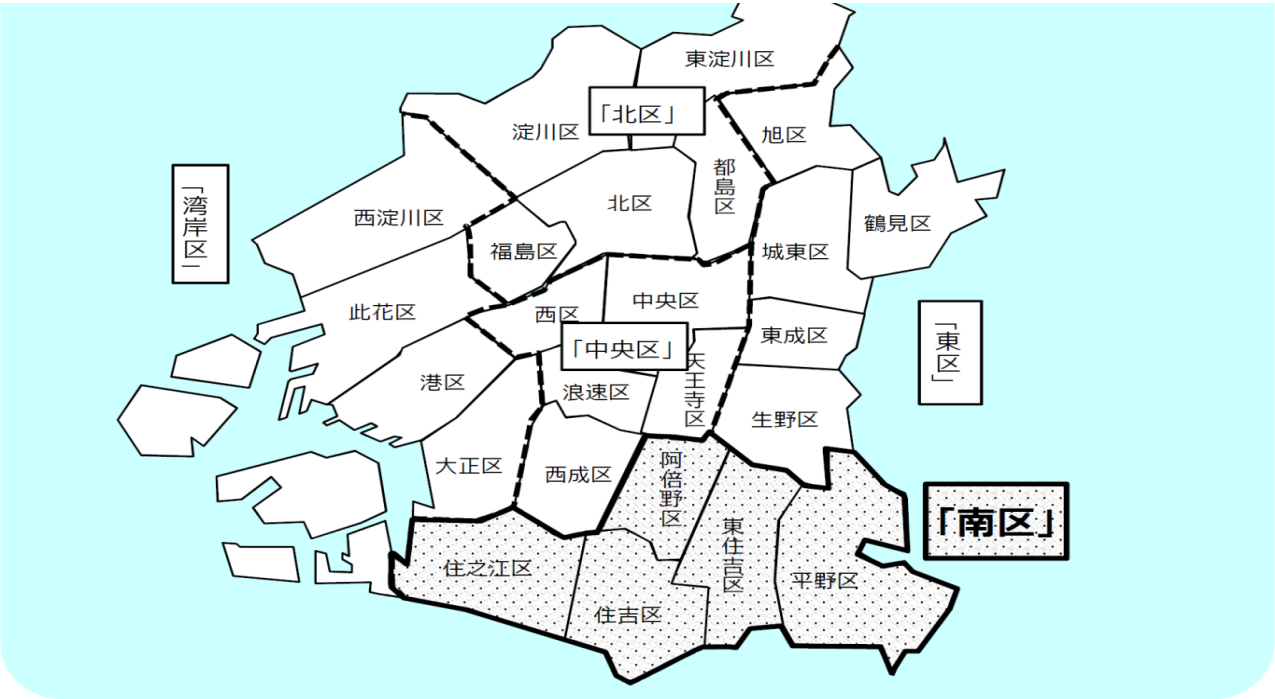
大阪の未来を変えられる力を持っているのは住民の皆様なのです。

全ては未来のために

2、「南区」の概要

①概況

「南区」は大阪市の南部に位置しており、現在の平野区、阿倍野区、住吉区、東住吉区、住之江区（咲洲・南港地域除く）の5つの行政区（住之江区は一部）が区域となります。
南区の位置、面積及び人口などの概況は以下のとおりです。

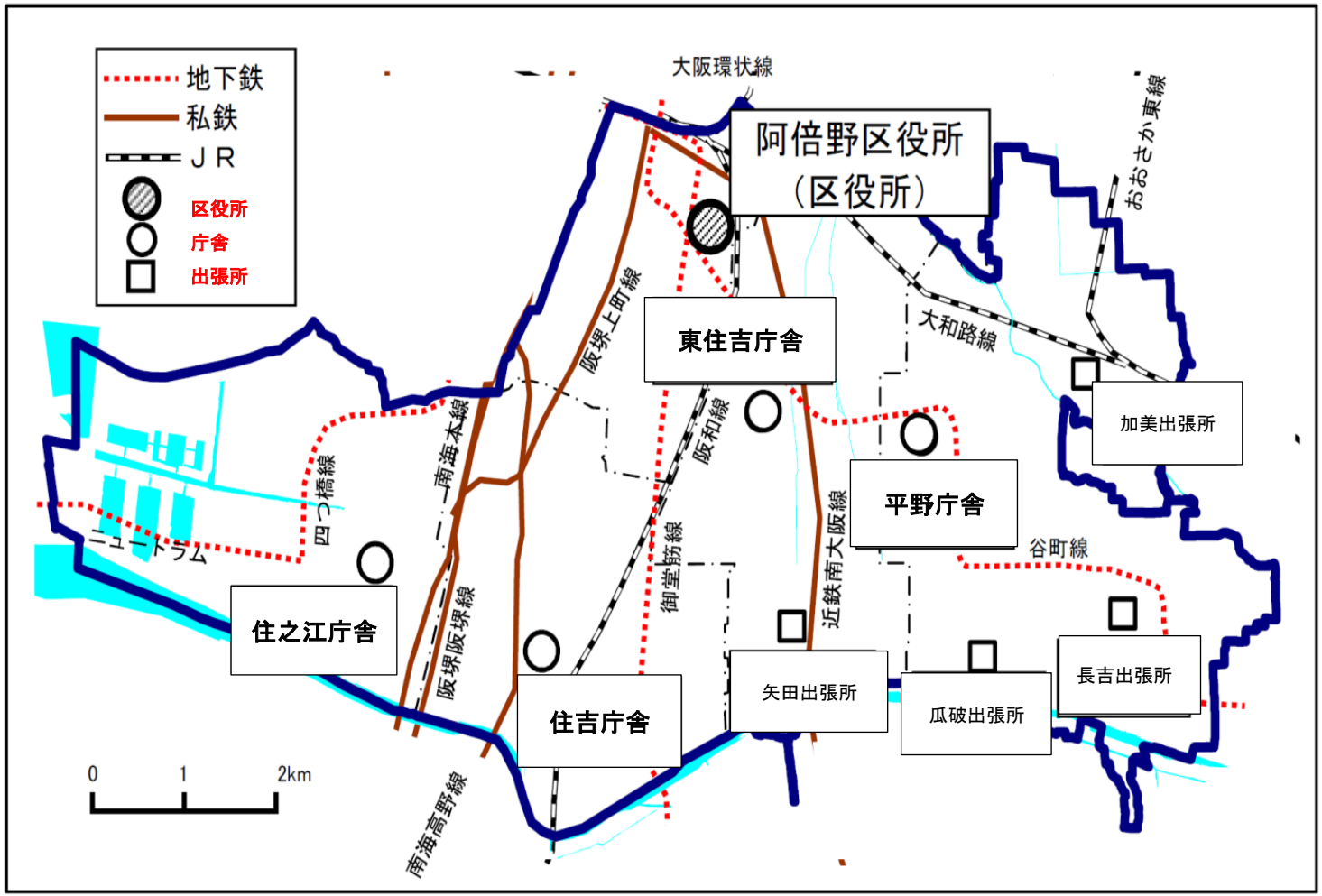


	「南区」	現在の行政区				
		平野区	阿倍野区	住吉区	東住吉区	住之江区（咲洲・南港除く）
面積	50．73km²	15．30km²	5．99km²	9．34km²	9．75km²	10．35 km²
H22 人口	693，405 人	200，005 人	106，350 人	155，572 人	130，724 人	100，754 人

②役所・庁舎の位置

「南区」の区役所は、現在の阿倍野区役所になります。

区域にあるその他の現在の区役所は引き続き庁舎として使用され、窓口業務などを行うことになります。また、出張所についても、これまでどおりの窓口業務を行うことになります。



③社会的資源

南区には、以下のような社会的資源があります。

阿倍野エリア

① 阿倍野ハルカス
② 大阪市立大学医学部附属病院
③ 大阪市立阿倍野防災センター

東住吉エリア

① 長居公園、大阪市立自然史博物館
① セレッソ大阪
② 駒川商店街
③ 大阪市中央卸売市場 東部市場

住之江エリア

① 住吉公園
② 住之江公園
③ クリエイティブセンター大阪
④ 加賀屋新田会所跡

住吉エリア

① 住吉大社
② 大阪府立急性期・総合医療センター
③ 大阪市立大学
④ 住吉スポーツセンター、エウェッサ大阪、シュライカー大阪

平野エリア

① 杭全神社 ② 大念佛寺
③ 大阪市立クラフトハーク
④ 大和川河川敷
⑤ 平野スポーツセンター

大阪の南の玄関口となる「南区」は、上町台地の南に位置し、区域の東側は東大阪市及び八尾市に、南側は大和川を隔てて堺市及び松原市に隣接しています。

・「南区」の北部にある天王寺・阿部野橋ターミナルは、JR環状線や地下鉄2路線が結接し、また、奈良、和歌山、堺と大阪を結ぶJR・近鉄・阪堺各路線が発着する、1日70万人規模の乗降客数を誇る一大ターミナルです。これらの鉄道網は天王寺・阿部野橋ターミナルから区域内を放射状に隈なく広がっており、鉄道駅も区域内に56駅設置されています。
道路交通網についても、天王寺・阿部野橋を起点とするあびこ筋や都心の谷町筋から続くあべの筋が区域内を南北に通っているほか、南港通や長居公園通などが東西方向に通っており、交通網の発達した地域となっています。

・都心への交通アクセスが充実していることなどから、区域内の住宅地の割合が都市部にしては比較的高く、定住魅力のあるまちと言えます。また、多くの大学・短期大学等が設置されており、昼間は多くの学生が通学しています。

・中心部の天王寺・阿部野橋周辺は従来から百貨店などの商業施設の立ち並ぶ地域でしたが、最近では、「あべのキューズモール」や日本で最も高層の商業ビル「あべのハルカス」などの大規模集客施設の開業により、若者を中心に大きな賑わいを見せています。
また、駒川商店街など地域の商店街も賑わっており、「南区」は商業、特に小売業の盛んな地域となっています。なお、平野の加美地区などには製造業を中心とした工場も多く立地しています。

・また、区の中央部には、日本有数の大規模な陸上競技場や植物園などを園内に持つ長居公園があり、多くの人が訪れスポーツや散策を楽しむ憩いの場となっています。西部には初詣の参拝者が数多く訪れる全国的に有名な住吉大社があり、風情ある路面電車（阪堺電車）や近くの旧街道とともに、歴史を感じさせるまちとして人気のスポットとなっています。

④生活指標

「南区」の医療・福祉、教育等の行政サービスや生活利便性について主要なデータをお示しします。

①医療・福祉

区域内には 768 の病院・診療所が設置されています。
また、デイサービスなどを実施する居宅介護事業者は 954 事業者となっています。

出典：大阪市統計書など

項目	数値	項目	数値
病院数[H22]	38 ヵ所	単位面積当たり病院・診療所数	15.1 ヵ所/km²
診療所数[H22]	730 ヵ所		
居宅介護事業者数[H25.6]	954 事業者	単位面積当たり居宅介護事業者数	18.8 事業者/km²
生活保護受給者数[H25.3]	41,285 人	生活保護率[H25.3]	59.8‰

※住之江区（咲洲・南港地域除く）の診療所数、居宅介護事業者数及び生活保護受給者数は、いずれも平成 22 年人口で按分して算出。

②子育て・教育

区域内には保育所が 102 ヵ所設置されており、就学前人口百人当たり保育所定員は 35.1 人となっています。
また、大学・短期大学が区域内に 7 校設置されています。

出典：大阪市学校基本調査など

項目	数値	項目	数値
保育所[H25.5]	102 ヵ所	就学前人口百人当たり保育所定員	35.1 人
保育所定員[H25.10]	12,723 人		
幼稚園[H25.5]	60 園	小学校[H25.5]	78 校
中学校[H25.5]	43 校	高等学校（全日）[H25.5]	22 校
大学・短期大学[H25.5]	7 校		

※就学前人口は、0 歳から 5 歳までの人口及び 6 歳人口の半数を加えて算出。
※住之江区（咲洲・南港地域除く）の就学前人口は、平成 22 年人口で按分して算出。

③生活利便性

区域内には鉄道駅が 56 駅設置されています。
また、地域コミュニティの指標のひとつである町会加入率は 69.7%となっています。

出典：大阪府市大都市局調べ

項目	数値	項目	数値
鉄道駅数[H25.7]	56 駅	単位面積当たり鉄道駅数	1.1 駅/ km²
町会加入率	69.7%		

※住之江区（咲洲・南港地域除く）の町会加入世帯数は、平成 22 年世帯数で按分して算出。

※大阪府市 大都市局作成資料から引用

3、将来を見据えた南区の抱える課題

21世紀に入って10年余が経過し、社会情勢、南区を取り巻く環境は大きく変化しています。このような中で、将来を見据えたとき、南区は次のような課題を抱え、それらへの対応を迫られています

①少子化の進行

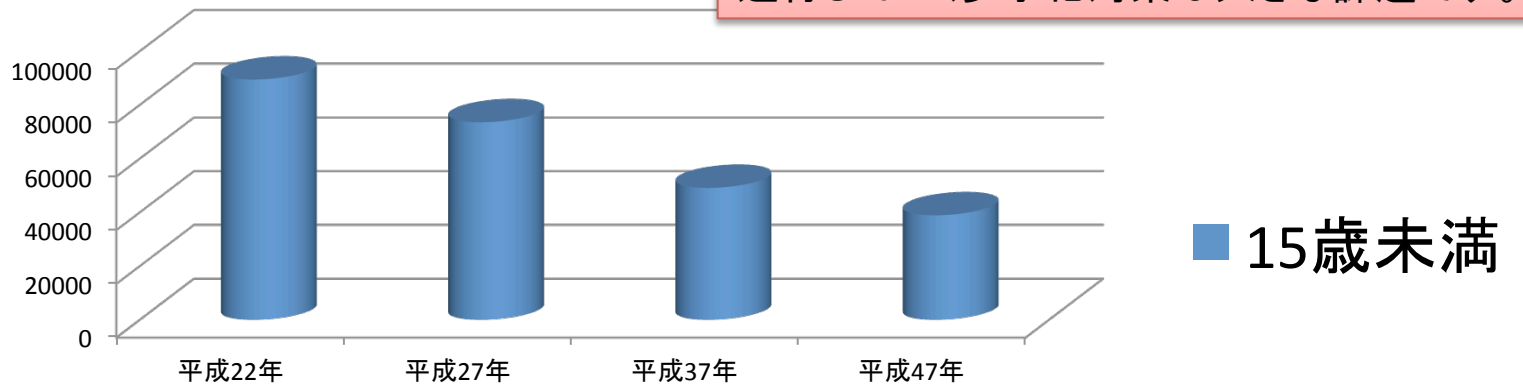
本格的な少子化の到来を迎え、現役世代が安心して子供を産み育てる子育て環境の整備、子育て世帯を呼び込むための魅力的な教育環境の整備が急務となります。

南区の総人口は、平成22年の国勢調査では約69.3万人に対して、将来推計人口によると平成47年には約51.1万人と激減する見込みです。その中でも、区内総人口に占める15歳未満人口の割合は平成22年には約12.9%に対し、平成47年には約8.3%と減少傾向にあります。

子供を産みやすい、育てやすい環境整備が急務であると言えます。同時に、子育て世帯を区内に呼び込むためには魅力的な教育環境の整備も要請されます。

南区の15歳未満の人口の推移

平成22年と平成47年とでは、子供の数が半分以下になってしまいます。
進行していく少子化対策は大きな課題です。



②人口減少・超高齢社会の到来

本格的な人口減少・超高齢社会を迎える中、高齢者や障がい者の方々が生涯にわたり安心して生きがいをもって過ごせるよう、予防医療や※ノーマライゼーションの推進など、医療・福祉施策の充実が一層重要となります。

※障がい者と健常者、また男女を問わず、社会生活を共にするのが正常なことであり、本来望ましい姿であるとする考え方

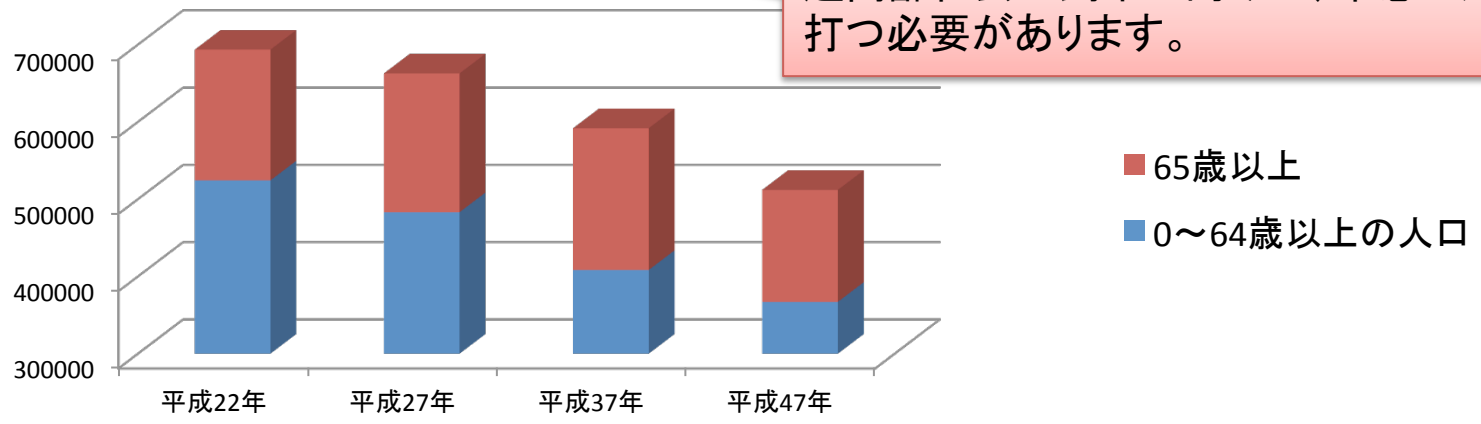
南区の総人口は、平成22年の国勢調査では約69.3万人であるのに対して、平成47年の将来推計人口は約51.1万人と激減する見込みです。このような人口減少の中、南区の65歳以上の人口は、平成22年の約24.4%に対して、将来統計では、平成27年には約27.1%、平成37年には約27.6%、平成47年には31.0%と上昇傾向にあり、かつてない高い水準で超高齢社会が進行してまいります。

生活保護受給世帯の割合が他の特別区と比較して突出して高いのも、南区の大きな課題です。

本格的な人口減少・超高齢社会を迎える中、いかに区民の皆様の医療・福祉の充実を図っていくかが重要な課題となります。

南区の65歳以上の人口の推移

超高齢社会の到来に向けて、早急に対策を打つ必要があります。



③地域の特色を活かしたまちづくり・都市魅力

南区内の地域ごとの特色を活かしたきめ細かなまちづくり施策の展開、地域の観光資源を活かした都市魅力の発信が求められます。

南区は阿倍野ハルカスやキューズモールなど天王寺・阿倍野ターミナルを中心とした商業拠点地域、平野区加美エリアのような中小企業・工場が立ち並ぶ工場地域、大和川沿いの水辺の地域、帝塚山・北畠などの良質な住宅街など様々な特色をもった地域を抱えています。また、南区内には住吉大社・杭全神社・山阪神社などの神社仏閣や平野郷、旧街道といった、歴史と伝統ある文化財が多数点在しています。

これまでの大阪市役所体制では大阪市全体で都市計画の方針が決められてきたため、地域ごとの特色を活かしたまちづくりができず、また地域の都市魅力を内外に十分発信できてきませんでした。

南区を内外から観光客が訪ねる魅力あふれる都市とするために、南区の都市としての一体性を保ちつつ、地域毎の特色を活かしたきめ細かなまちづくり施策の展開、地域の観光資源を活かした都市魅力の発信が求められます。

④国際感覚を次世代へ修得させる質の高い教育

全国一律同一レベルの教育から特色ある多様な教育を実施し、学校間の切磋琢磨を促していくとともに、グローバル社会を生き抜く人材育成のため、義務教育段階からグローバル教育を充実させていきます。

最新の学力テスト結果によると、大阪の教育は依然として全国的にも低位に甘んじており、大阪の子どもたちの学力不足は深刻な状況にあります。その原因として、文科省の学習指導要領のもと大阪市内の公立学校は一律の教育カリキュラム、一律の学習内容を強いられていること、校区制度のもと、生徒保護者に学校選択の自由がなく、学校間の切磋琢磨が欠如していたことなどが挙げられます。

また、グローバル人材を育てるための教育環境の整備においても、大阪は東京に大きく立ち遅れてきました。

全国一律同一レベルの教育から特色ある多様な教育を実施し、学校間の切磋琢磨を促していくとともに、グローバル社会を生き抜く人材育成のため、グローバル教育の充実が求められます。

⑤南区をつなぐ東西交通網の整備

南区に関係する交通は、市内だけでなく市外への交通であるなど、市外の自治体また民間との連携を踏まえた幹線交通網の整備が必要となっています。それと同時に、地域連携型都市構造の実現に向けた拠点間の連携や安全で快適な市民の生活を確保する交通機能の形成が求められています。

南区は地理的に東西に広がっており、主要駅である天王寺・阿部野橋駅から地下鉄（2路線）、JR（4路線）、私鉄（5路線）が走っていますが、そのうちほとんどが南北方向の路線であり、東西方向の交通網が不足しており、駐輪場の数も少ないのが現状です。

LRTやBRT等を活用する新しい交通網を東西に張り巡らせることによって、利便性の確保、地域の活性化を進めるとともに、駐輪場も民間企業の投資によって充実させる仕組みをつくります。

また従来の市営地下鉄のように、税金を投入して行う交通網とは異なり、民間企業の投資によって交通網を充実させ、サービスの質の向上と住民への負担の軽減を実現していきます。

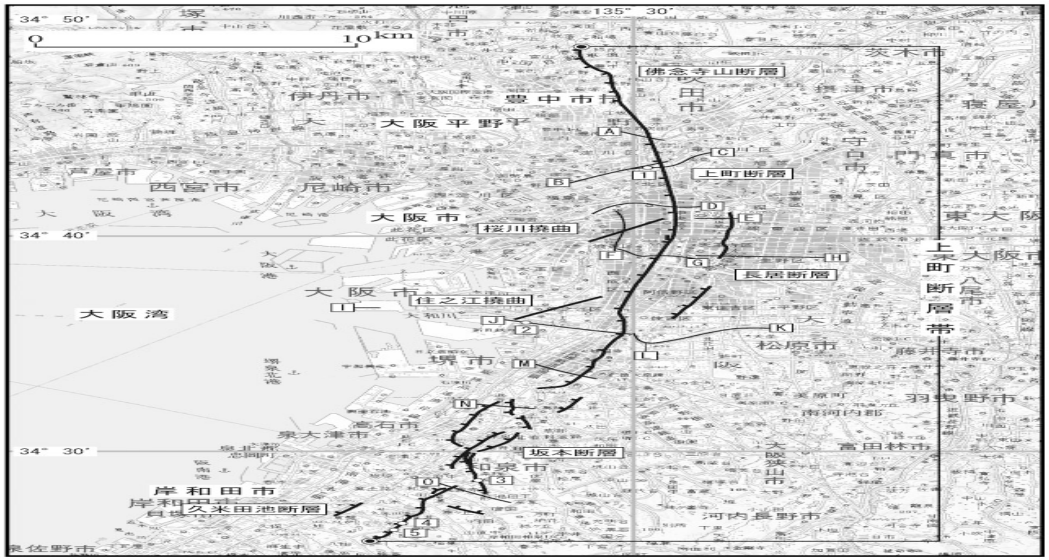
⑥大規模災害への危機管理体制

都市直下型地震やゲリラ豪雨などによる大和川の氾濫、都市型水害を始めとする大規模災害に対する危機管理体制を住民に身近な特別区で確立する必要があります。

南区を縦断する形で上町断層帯が存在しており、都市直下型地震が発生すると甚大な被害に遭います。また従来の大阪市では、大和川の防災体制も隣接する区と連携がとれておらず、避難場所に発電機等の必要な備品も確保されていませんでした。

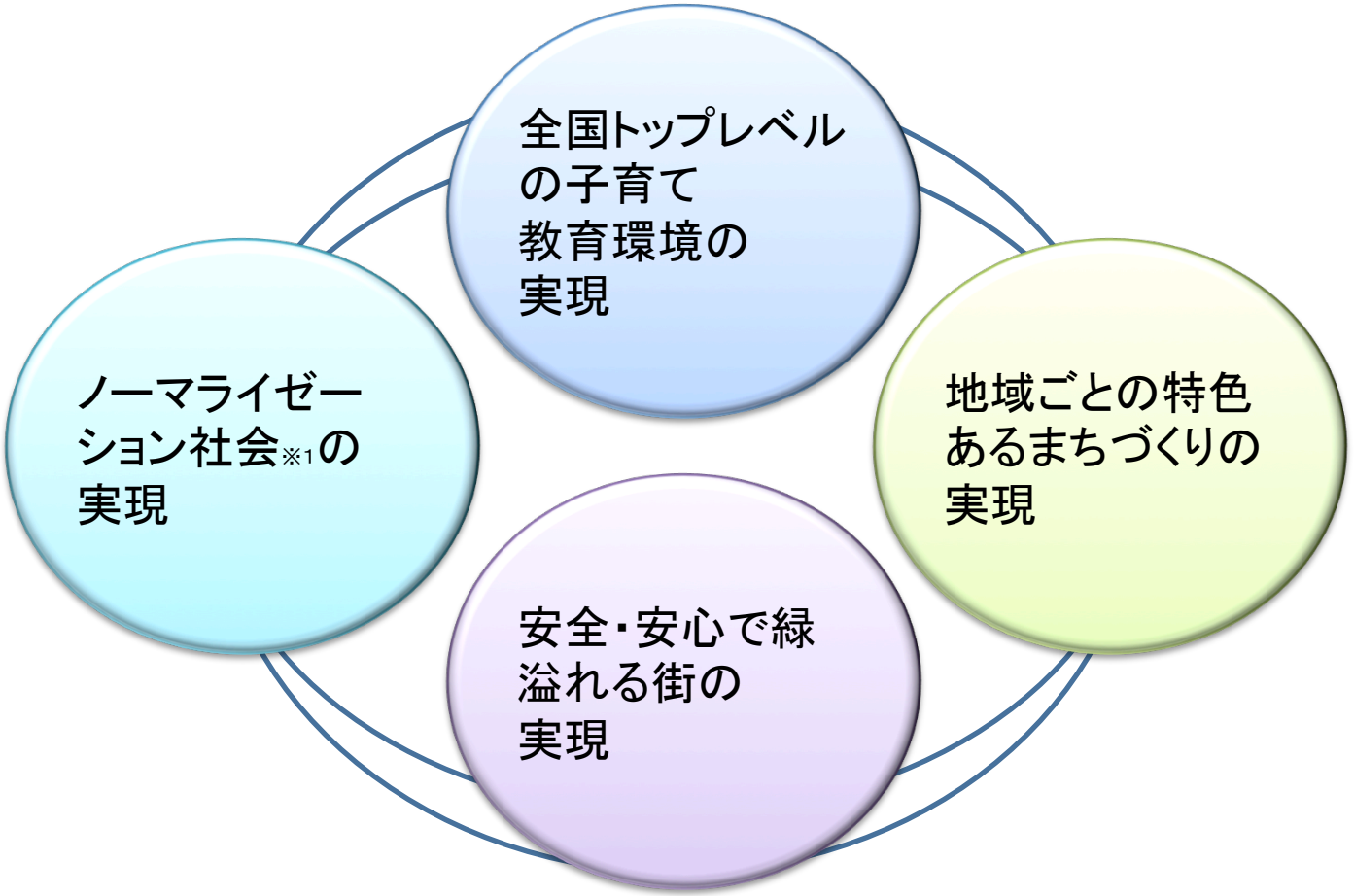
災害発生直後は地域住民による「自助」「共助」が必要であり、災害時の避難場所の周知徹底のためにも行政区を超えて、災害想定場所の防災マップや避難場所の確保、更なる地域コミュニティーの強化を進めるとともに、「確かな避難場所」を実現するべく、必要な備品を地域の実情に応じて確保します。

天王寺ターミナルには大規模災害による帰宅困難者が多数発生する事を鑑み、混乱状態を招かないためにも、避難場所に民間施設を活用すること等、南区独自の危機管理体制の確立が急務です。



次世代へつむぐ　伝統と先進が織りなす街へ

南特別区　理念　：　共生社会を目指して

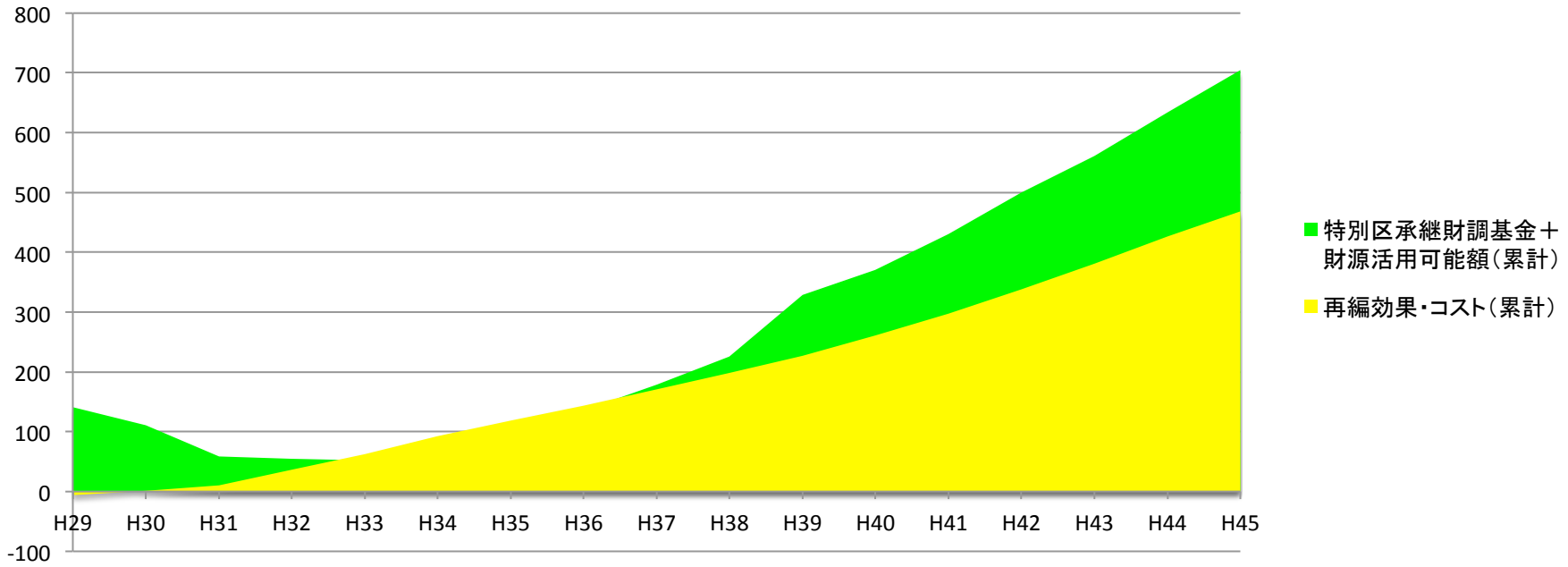


※1　ノーマライゼーションとは・・・・障がい者と健常者、また男女を問わず、社会生活を共にするのが正常なことであり、本来の望ましい姿であるとする考え方

4、南特別区の財政

特別区になれば南特別区でこれだけの財政効果が出ます！！

◯平成34年度には財源活用可能額が発生し、徐々に拡大して平成45年度には約70億円（単年度黒字）となる
◯累計では平成45年までに704億円もの特別区承継財調基金＋財源活用可能額が創出される
◯さらに、関電株や地下鉄民営化による株式資産などを　活用し、ストックの組み替えによる投資が実現できる



※数値は「第17回　大阪府・大阪市特別区設置協議会資料　各特別区の長期財政推計【粗い試算（その1）】（一般財源ベース）」参照

5、中長期目標

①全国トップレベルの子育て・教育環境の実現

「南区で子供を産み、育ててよかった。」 こういっていただけるような、全国トップレベルの子育て環境、教育環境の整った、定住魅力あふれる街を目指します。

具体的な取り組み①

〇（仮称）大阪府市合同住吉母子医療センターの
機能強化を図り、周産期医療体制を充実させます。

〇不妊治療、妊婦健診への助成を充実させます。

〇待機児童対策を充実し、
地域の保育ニーズに合った保育施設を提供します。

〇民間企業と共同し、地域コミュニティーに密着した
新しいタイプの図書館を複数設置します。

①全国トップレベルの子育て･教育環境の実現

具体的な取り組み②

〇公立大学の附属学校の区内設置や、区内に多数立地する大学等との連携を強化し、個性あふれる学校教育を提供します。

〇小中一貫校、中高一貫校の推進を図ります。

〇現在の行政区の範囲を超える学校選択を可能にします。

〇小学校の再編整備により、学校の適正配置を図ります。

〇学校でのクラブ活動の指導をプロスポーツ選手や学校OBなどに外部委託することで、課外活動を充実させます。

〇放課後事業の時間を延長し、内容を充実させます。

①全国トップレベルの子育て・教育環境の実現

具体的な取り組み③

〇美味しい中学校給食を提供します。

〇習熟度別の学級や小中学校教育の学び直しができる学級を設置します。

〇児童相談所にいじめ対応専門部署を設置し、相談機能を高めることで、学校でのいじめゼロ、不登校ゼロを目指します。

〇国際バカロレア認定学校（インターナショナルスクール）を区内に誘致します。

〇各公立小中学校にネイティブスピーカーの英語指導員を配置します。

②ノーマライゼーション社会の実現

南区ではノーマライゼーションを目指し、医療や介護など誰もが抱える生活課題を解決し、区民が健康を保持し、自立した心豊かな生活を送ることができるよう支援します。地域の支えあいやボランティア、NPO の活動などと協働し、地域社会全体で支えあう地域福祉を推進します。

具体的な取組み①

○各種の地域団体に委託して、高齢者世帯を支える見守り隊（有償ボランティア団体）を創設します。

○長居公園、住之江公園、住吉公園など都市公園を活用したスポーツイベントを企画し、健康パラダイスを実現します。

○特別養護老人ホーム・介護老人保健施設を増設し、待機高齢者ゼロを目指します。

○住民のニーズに合わせた福祉バスを創設します。

②ノーマライゼーション社会の実現

具体的な取組み②

○生活保護受給者への就労支援を充実させることで貧困の連鎖を断ち切り、持続可能な制度にしていきます。

○生活保護不正受給対策を強化します。

○障がい者にやさしい環境整備に努めます。

○保健所機能を充実強化します。

○特定健診・がん健診の受診率向上を図ります。

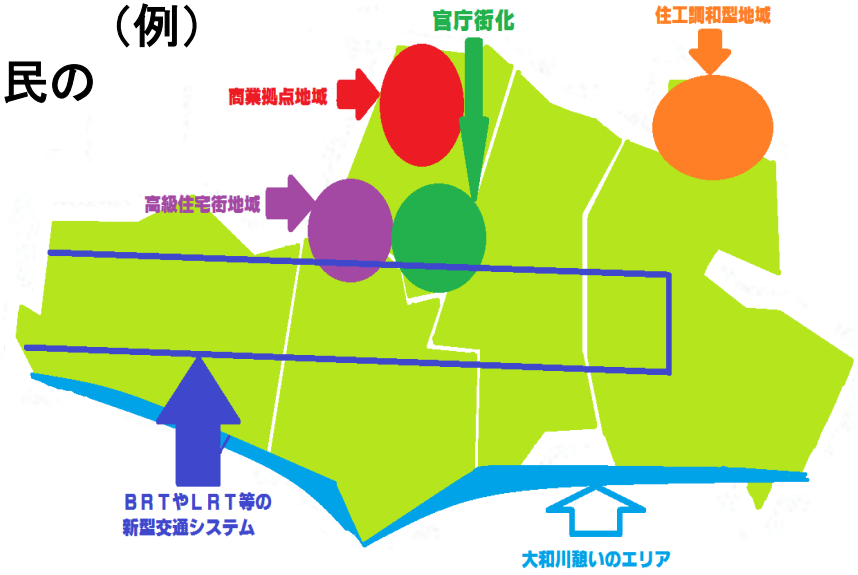
③地域ごとに特色あるまちづくりの実現

南区に東西の交通網を整備することで、多くの住民の利便性に寄与するとともに、都市としての一体性を形成します。地域ごとの特色を活かしたきめ細かなまちづくり施策を展開します。南区内にある貴重な観光資源を有効活用し、南区の都市魅力を内外に強力発信します。

具体的な取組み①

○　地域ごとのまちづくり方針をまとめた「南区都市計画マスタープラン」を、地域住民の皆さまとともに策定します。

（例）



○南港通り・長居公園通りにBRT・LRT等、新型交通システムを導入します。

○従来の区役所を「庁舎」として存続させ、窓口サービス機能を向上させます。

③地域ごとに特色あるまちづくりの実現

具体的な取組み②

〇西田辺付近に南区の本庁舎を新設し、
官庁街化していきます。

〇北畠、帝塚山地区などの指定エリア内での
建築物の高さ規制、面積規制により、高級
住宅街のブランドイメージを維持・向上させます。

〇大和川河川敷にサイクリングロードを新設する
など、憩いと潤いのあるゾーンにします。

〇大阪護国神社・住吉公園・山阪神社
・杭全神社を結んだ新歴史街道の形
成に取り組みます。

〇だんじり会館を創設するなど、伝統
文化の保存・次世代への担い手育
成に取り組みます。

④安全・安心で緑あふれる街の実現

都市直下型地震やゲリラ豪雨などによる大和川の氾濫、都市型水害を始めとする大規模災害に対する備えを確立し、住民の生命・身体を守ります。安心安全で、緑の多い南区を目指します。

具体的な取組み①

○国、大阪府と緊密に連携した南区地域防災計画を策定します。

○地域団体と連携した地域防災訓練を通じて、若年層の防災意識を啓発していきます。

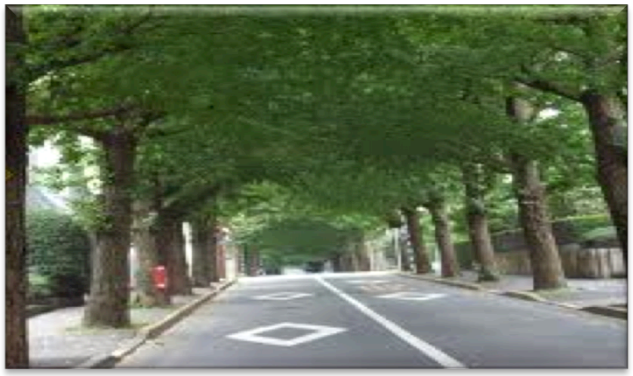
○大和川の水質改善や水辺環境の整備に取り組みます。

○大和川一帯を網羅した防災マップを策定し、防災体制を確立します。

④安全・安心で緑溢れる街の実現

具体的な取組み②

○未利用地をエコタウン化するなど、
良質な住環境の住宅街に再生させます。



○緑豊かな天王寺大和川線
『風かおる“みち”』を早期に実現させます。

○緑視率を向上させます（大阪市の定める
目標を上回る目標達成）

○容積率ボーナス制度を活用し、民間
建築物においても緑を確保します。

5、各エリアの課題・目標

阿倍野エリアの課題・目標

〇阿倍野筋での歩行者天国、パレード等イベント企画による街の活性化、斎場交差点以南の拡幅工事を目指します。

〇老朽家屋の耐震工事推進、空家の除却促進等、阿倍野区の密集市街地対策に取り組みます。

〇大規模災害時に阿倍野・天王寺ターミナル周辺に多数発生が見込まれる帰宅困難者対策を充実させます（阿倍野防災センターとの連携体制の構築、地域防災訓練の更なる充実）

〇区内公立学校のうち、「過大規模校」と「過小校」の偏在解消に向けた取組みを進めます（過大規模校の高層化、学校間の再編整備など）。

〇認可保育園の増設、認定こども園化により、阿倍野区の待機児童ゼロを目指します。

東住吉エリアの課題・目標

〇駒川を親水公園通りにします。
〇長居公園内に緑の公会堂、図書館を設置します。
〇新庄ー大和川線を南進させ、阪神高速大和川線の
　インターチェンジまでの道路整備を早期に実現します。
〇地下鉄今里筋線をJR東部市場前駅まで延伸します。

平野エリアの課題・目標

〇地下鉄千日前線を延伸し、南巽駅とJR平野駅を
　接続します。
〇JR大和路線立体交差（高架化）の早期実現など、
　JR加美駅周辺再開発・再整備に取り組みます。
〇公営住宅跡地・学校跡地・阪和貨物線跡地など、
　未利用地の有効活用を促進します。
〇特別養護老人ホームの増設など、高齢者・障がい者
　への生涯福祉を充実します。
〇小中一貫校の創設など、特色ある学校園（モデル校）
　づくりを促進します。
〇大和川・平野川周辺の水辺環境整備に取り組みます。

住吉エリアの課題・目標

〇南海高野線の踏切渋滞問題を緩和するため東西新型交通システムと関連して検討します。

〇大和川隣接地域の防災対策を強化・充実します。

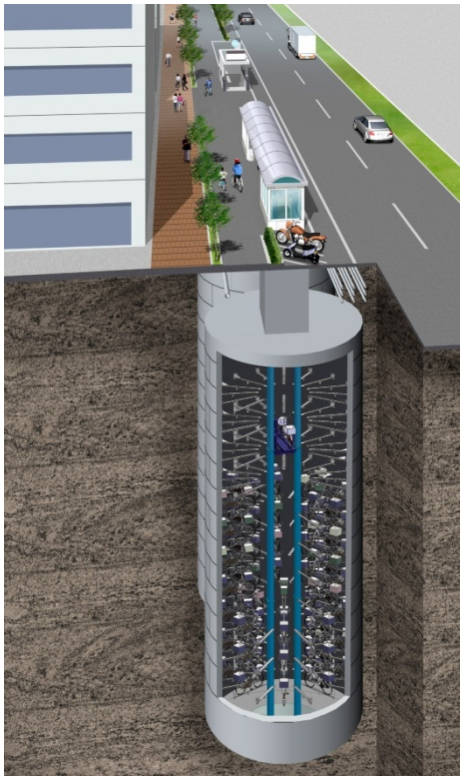
〇住吉大社を含めた観光資源のPRや有効活用に一層努めます。

〇特に踏切や幹線道路が多いことから、小学校通学路の安全対策を強化します。

住之江エリアの課題･目標

①機械式地下駐輪場の整備

エリア内の主要駅には、需要に見合う駐輪場は整備されておらず、これまで放置自転車撤去を中心にお金をかけてきました。また、これまで駅前の歩道の一部で、緑地を削りながら、駐輪場整備をしたものの、駅から離れていることから、駐輪需要に見合うものではありませんでした。これを解決するために、エリア内の主要駅の地下鉄玉出駅、北加賀屋駅、住之江公園駅の地下入口から200m以内に、機械式地下駐輪場を需要見込みに対して100%整備します。



②河川の緑地化･親水化

従来の治水の役割を終え、地域の交流を南北に分断している住吉川や細井川について、暗渠に再整備し、その上に清流が流れる親水公園や、緑地、緑道に整備することによって、市民交流や都市格をあげ、住みたい街を目指します。

③地域救急救命団の創設

これまで縦割りとなっていた地域の自主防災組織を改善するため、横軸連携とも言うべき、地域救急救命団を創設することによって、これまで防災訓練等に参加しにくかった若手世代を取り込んで、もしもの時に活動できる組織を作ります。

④平林貯木場の活用

これまで貯木場は、主に輸入木材業者が丸太木材を海水面に保管していました。しかし、現在は丸太の取引はなくなり、製材された木材が取引されるようになったために、海水面の貯木場は利用されなくなりました。平林貯木場の再開発を促進するための政策を今後策定し、この地域の有効活用をはかってまいります。